

まいどさん

足寄町商工会青年部

R1.7.1 No.183

経営研修委員会 庄司

☆青年部インタビューリレー☆

青年部員一人ひとりのことをより深く知ってもらうために
リレー形式で紹介をしていきます。

第10回は梅垣辰実理事・人見祐介新理事です。



プロフィール

梅垣 辰実（うめがき たつみ）

1980 年 足寄町出身

1999 年 足寄高校卒業

1999 年 島津塗装店 入社

2012 年 島津塗装店 退社

2012 年 マルショウ技研（株）入社

2015 年 マルショウ技研（株）退社

2015 年 道東コンクリート（株） 入社

ー 経 歴 について 教えて下さい

高校卒業後、父親の紹介で島津塗装店にお世話になることになりました。最初は、1年ぐらいで辞めて違う職業を見つけようと思っていたのですが、塗装業は自分が思っていたのとは違い、とてもやりがいのある仕事でした。

職人の世界は厳しいところもあるのですが、その中で少しずつ仕事を覚え、自分が塗装した屋根や壁が町の中に増えていくことに充実感があり、最後の方では1人で仕事を任せてもらえるまでになりました。入社し10年が経過した時に自分で塗装業をやることも考えたのですが、仕事が減っていった時期で、自分でやる自信もなく迷っているときにマルショウ技研（株）に誘われ入社しました。ここでは断熱二重煙突の作成・設置、薪ストーブ・ペレットストーブの設置など全道各地をまわり、仕事が少ない時期は販売用の薪を割ってしました。仕事仲間も良い人たちで結構楽しくやっていたのですが、いろいろありまして退社。退社後3か月ぐらい退職金やバイトしながら大型免許を取得しに行っているときに野球部でお世話になっていた村本さんに誘われ道東コンクリート（株）へ入社し現在に至ります。

ー 業 務 内 容 について

生コンクリートの製造・運搬をする会社で私は試験員兼運転手をしており、試験員としては主に現場試験・圧縮強度試験をしています。現場試験とは指定された生コンの品質が規格の許容範囲内に適合しているかを確認することで、試験内容はスランプ試験（生コンの柔らかさの試験で柔らかすぎても硬すぎてもダメ）、

空気量測定試験（生コンに含まれる空気量を測る試験で空気量が多すぎると強度が低下します）、塩化物含有量測定（生コンに含まれる塩分の濃さを測る試験でこの数値が高いとコンクリートを支える鉄筋が錆びやすくなります）です。

圧縮強度試験は、現場試験時に採取した供試体（コンクリートの円柱）を強度試験機で潰し指定された強度がでているかを試験します。あとたまにアジテータトラックで生コンを運搬してます。



一 青年部について今と昔を比べて部として変わったこと

今年、青年部に入部して13年目になります！もうベテランですね！笑
入部したきっかけは野球部です。高校卒業後に何度か川村さん（川村写真館）に誘われたのですが、その当時の私は・・・なので断っていました。（笑）数年後、友人宅で遊んでいる時にW氏（友人のとても怖い兄）が部屋に（酔いながら）乱入して「お前、野球部に入れ！！」の一言で野球部に入部し、その後同級生が青年部に入部を知り、私生活も落ち着き？青年部に入部することになりました。

私が入部した頃の青年部はイベント重視な感じで、子供まつりを復活させ、一人一芸を掲げてジャグリングを習得して披露する為に本番の何か月も前から自宅や商工会で、会議で商工会が使えない時は市民センターのロビーで練習していました。新しい技ができるとみんなで騒いで喜んでと、全力でイベントを行い全力で打ち上げをする仲間みたいな感じでした。

今もその感じは変わらないですが、今の青年部は自社にとっての商工会の活用方法とは、青年部とはみたいな、より自分の将来（事業承継等）の為に講習を行ったり、上手い補助金の使い方だったり、十勝以外の青年部の方を講師に招いて講演をしたりと自分の為、会社の為になる活動が増えたと思います。これが本当の青年部の在り方なのかもしれない。イベントでも子供まつりは自分たちの仕事を体験できるコーナーを作り、楽しませることと学ばせることができるイベントになり、ビアガーデンも自分たちだけでやっていたものを飲食店の方々に出店していただき規模も拡大しました。他にも花火大会のミニステージやその年に産まれた子供たちの為に花火を打ち上げたりと、他の青年団体や町を巻き込みよりよい活動をしていると思いますし、自分もただ言われたことをしていた昔と青年部理事や事業委員長に任命され意見を言うことの難しさ、聞き出す難しさを学び成長できたと思います。

事業概要

名称 道東コンクリート（株）
代表 花房 浩一
住所 足寄郡足寄町北4条1丁目
電話番号 0156-25-3113
FAX 0156-25-5175
事業内容 セメント製造業
創業 1966.8



以上梅垣理事でした。裏面に続きます。

続きまして、人見新理事です。

☆青年部インタビュー！☆



プロフィール

人見 祐介（ヒトミ ユウスケ）

1984 年 本別町出身

2002 年 本別高等学校 卒業

2006 年 北海学園大学 卒業

2006 年 浦幌町農業協同組合 入社

2016 年 浦幌町農業協同組合 退社

2016 年 株式会社イエツネ林業 入社

ー 経歴を教えてください。

私は、隣町の本別町出身です。小・中・高と本別で過ごし、高校卒業後は北海学園大学に進学しました。大学でのゼミで、農業経済学を学び改めて農業の素晴らしさを実感したのを覚えています。大学卒業後は、十勝に戻り農業に携わる仕事がしたいと強く思い、浦幌町農業協同組合に就職しました。農協では10年間勤め、農産部や金融部で様々なことを学ばせて頂きました。農協5年目に結婚し、3年後に妻の父から跡継ぎの話を受け色々考えましたが、やらないで後悔するなら、とりあえずやってみようと思い、キリのいい勤続10年で農協を退社し、3年前にイエツネ林業に入社しました。

入社前の林業のイメージは、チェーンソーで昔気質のヤンチャな人達が木を切っているという勝手なイメージでしたが、決してそんな事はなく、重機やチェーンソーや草払機を巧みに操る、とても気さくな方たちばかりでした。最初の年は、仕事の流れや山に関する言葉（尾根など色々）がわからず、とても苦労しました。ですが、自然のなかで働けることが嬉しくやりがいを感じ、3年経った今では林業というものはとても達成感が得られ、スケールの大きい職業だと思っています。

ー 業務内容を教えてください。

AM6：00に会社前で全体ミーティングをし、造材班と造林班に分かれ各現場に向かいます。造材班は、山中の木を伐倒→森林作業道を作設→木寄作業→プロセッサーやハーベスタによる玉切り作業→フォワーダによる集積所（土場）への運搬→丸太の長級や径級の確認・調整→巻き立てといった作業工程を行っています。

造林班は、地拵え、植付、下刈り、除伐といった作業を行っています。

私は、造材班で主にフォワーダによる運搬や、集積場で丸太の長級や径級の確認・調整を担当しています。現場の作業を終え、だいたいPM4：00には事務所に戻り毎日の材積の集計、各現場の代理人と状況報告や明日の作業内容の確認をし1日の仕事が終わります。

時期にもよりますが、1年を通して現場業務と事務業務を7：3位の割合で行っています。

— 婿さんってどうなの？（今後の承継について、婿さんならではの苦労、良い点等々）

今後の承継については、私自身まだまだ林業においても経営面においても未熟なので、1日でも1年でも早く社長が安心して承継できるよう、日々頑張っていきたいと思っています。婿さんの良い点は、実父であれば敬語なんて使わないですし、なにかしら反抗したりもするのですが、何事においてもすんなり受け止められるところですかね。

苦労する点をここに載せる勇気は私にはありません（笑）察して下さい。

というか、ありません！！

— 今後の展望について

私自身、林業関係に就職するという選択肢は一切ありませんでした。それはなぜなのかを考えてみると、幼い頃から林業というものに接点がなく身近なものではなかったからだと思います。

会社の10年後、20年後の事を考えたとき、若者の力・発想力とベテランの技術力が融合されている会社が私の理想です。そうなるには、もっと林業の魅力を発信していく必要があると思います。インターンシップの受け入れや企業説明会など積極的に取り組み、もっと林業というものを身近に感じてもらえれば、色々な選択肢が増えるのかなと思います。

そうする事により、1人でも多くの人に林業というものに興味をもっていただければ、明るい未来が待っているのかなと感じています。

事業概要

名称 （株）イエツネ林業

代表 家常 尚詞

住所 足寄町北3条1丁目21番地

電話番号 0156-25-2088

事業内容 造林・造材

創業 1984.4

次回予告

次回のインタビューリレーは

です。お楽しみに！